

# 令和3年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科 : 英語

## Research ⇒ 現状分析・課題把握

- 1年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒大多数の生徒は意欲的に授業に取り組んでいる。1学期期末考査は平均点 78.2、達成率 80%以上の生徒の割合が 54.5%だった。観点別の平均得点率は、知識・技能は80%、思考・判断・表現は71.5%だった。思考・判断・表現の書くことの課題解決に重点を置く。
- 2年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒友達やALT とやり取りする活動に意欲的に取り組む生徒が大多数である。1学期期末考査は平均点 60、観点別の平均得点率は、知識・技能が 55%、思考・判断・表現が 64%だった。知識・技能の書くことの課題解決に重点を置く。
- 3年生**・・【授業、単元テスト、小テスト、実技テスト、定期考査など】⇒ワークブックや問題プリント、長文読み取りドリルに意欲的に取り組む生徒が多い。1学期期末考査は平均点 63.6、観点別の平均得点率は知識・技能が 61%、思考・判断・表現が 52.8%だった。思考・判断・表現の書くことの課題解決に重点を置く。

## Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

### 《 I 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』 》

- 1年生**・・単語テストを継続して行う。音読、ペアワークなど発話の機会を多く設けたり、復習にあたる家庭学習の課題を毎回与えたりすることで知識の定着を図る。
- 2年生**・・週1回の単語テストを継続して行い、語彙の定着を図る。自作のパワーポイントスライドを活用し、基本文を繰り返し口頭練習させ、家庭学習で書くことを補わせる。これらを通して知識の定着を図る。また、友達やALT とやり取りする活動を通して技能を向上させる。定期テスト後に再テストを行い、知識・技能の向上を図る。
- 3年生**・・週1回の単語テストを継続して行い、語彙の定着を図る。自作のパワーポイントスライドを活用し、基本文を繰り返し口頭練習させ、復習となる家庭学習の課題に取り組ませる。またALT とのやりとりをする活動を行わせる。これらを通じて知識・技能の定着・向上を図る。

### 《 II 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成 》

- 1年生**・・自分自身のことや自分の身の周りのことを話したり書いたりする言語活動を行わせる。教科書内容について自身の意見や考えを英語で表現する機会を増やす。ALT とのコミュニケーションに発展させ、思考、判断をして英語を使う機会を多く作り、英語で表現する力をさらに付けさせる。
- 2年生**・・友達やALT とやり取りする活動を継続して行わせる。教科書の内容について考えさせ、考えたことを表現する活動につなげる。自身について書いたり発表したりする活動、登場人物になったつもりでメールを書く活動、町の名所を伝える紹介文を書く活動などを行わせる。これらの活動を通して思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。
- 3年生**・・教科書の内容について考えさせ、自身の意見や考えを表現させる機会を増やす。ALT との会話や質疑応答に発展させ、既習事項や新出事項を使う機会を増やす。帯活動として、「長文読み取りドリル」を活用して、文章の内容を捉える活動を継続して行う。これらの活動を通じて、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。

### 《 III 『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着 》

- 1年生**・・友達やALT と会話することで意欲を高めさせる。毎回の授業の最後に振り返り活動を行わせ、学習課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。
- 2年生**・・毎時間の授業、ALT との会話、パフォーマンステスト、定期考査の振り返りを行わせることで課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。10単語のテストを継続して行い、全問正解という目標を持って取り組ませる。
- 3年生**・・毎時間の授業、パフォーマンステスト、定期考査の振り返りを行わせること、新出表現を使った自分自身の考えや体験を表現させ、ALT や教員が添削してフィードバックすることで、課題を把握させて学ぶ意欲を高めさせる。